

2019年3月期第2四半期 決算説明資料

2018年11月26日

東証1部: 6333



株式会社 帝国電機製作所

1. 2019年3月期第2四半期決算
2. 2019年3月期業績見通し
3. 当社事業の特徴・強みと戦略
4. 中長期経営計画
5. 環境経営への取り組み



世界中の様々な場所で活躍している
テイコクキャンドモータポンプ —————
私たちはキャンドモータポンプの
リーディングカンパニーです

2019年3月期第2四半期決算



株式会社 帝国電機製作所

2019年3月期第2四半期決算概要



株式会社 帝国電機製作所

- 国内市場での設備更新、及びメンテナンスサービス需要、中国を中心としたアジア市場での新規設備投資需要を取り込み、堅調に推移

(百万円)	2018年3月期 第2四半期	構成比 (%)	2019年3月期 第2四半期	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	9,351	100	10,580	100	+13.1
売上原価	5,626	60.2	6,290	59.5	+11.8
売上総利益	3,724	39.8	4,290	40.5	+15.2
販売費及び一般管理費	2,811	30.1	3,003	28.4	+6.8
営業利益	913	9.8	1,286	12.2	+40.9
経常利益	1,001	10.7	1,432	13.5	+43.0
親会社株主に帰属 する四半期純利益	608	6.5	954	9.0	+56.9

主力のポンプ事業が堅調、売上・利益ともに伸長

売上高

ポンプ事業は、国内・アジアを中心に増収

売上総利益

売上増加に加え、国内の採算改善により増益

営業利益

人件費の増加を吸収

親会社株主に帰属する四半期純利益

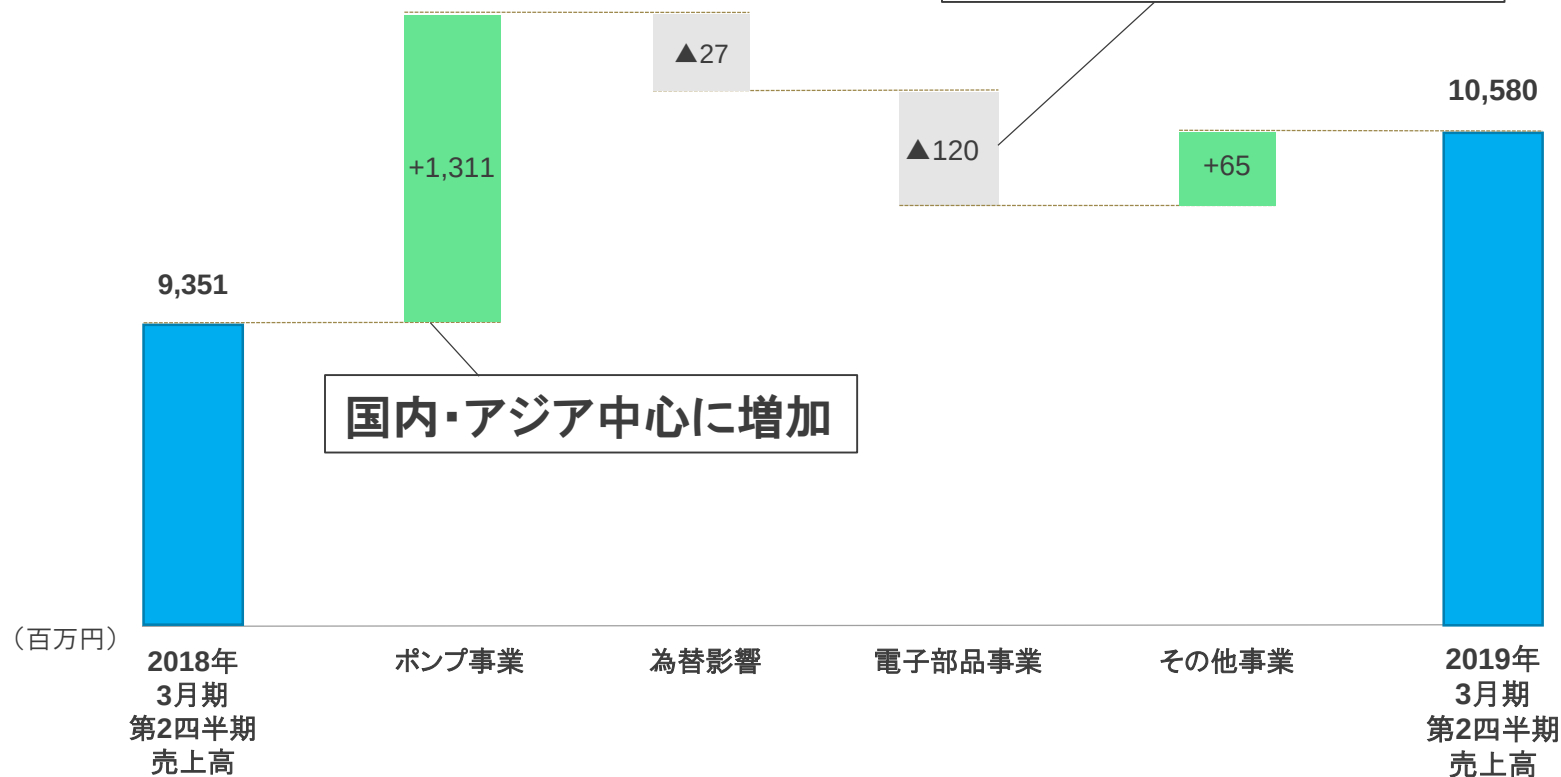
前期比+56.9%の増益

売上高増減分析



株式会社 帝国電機製作所

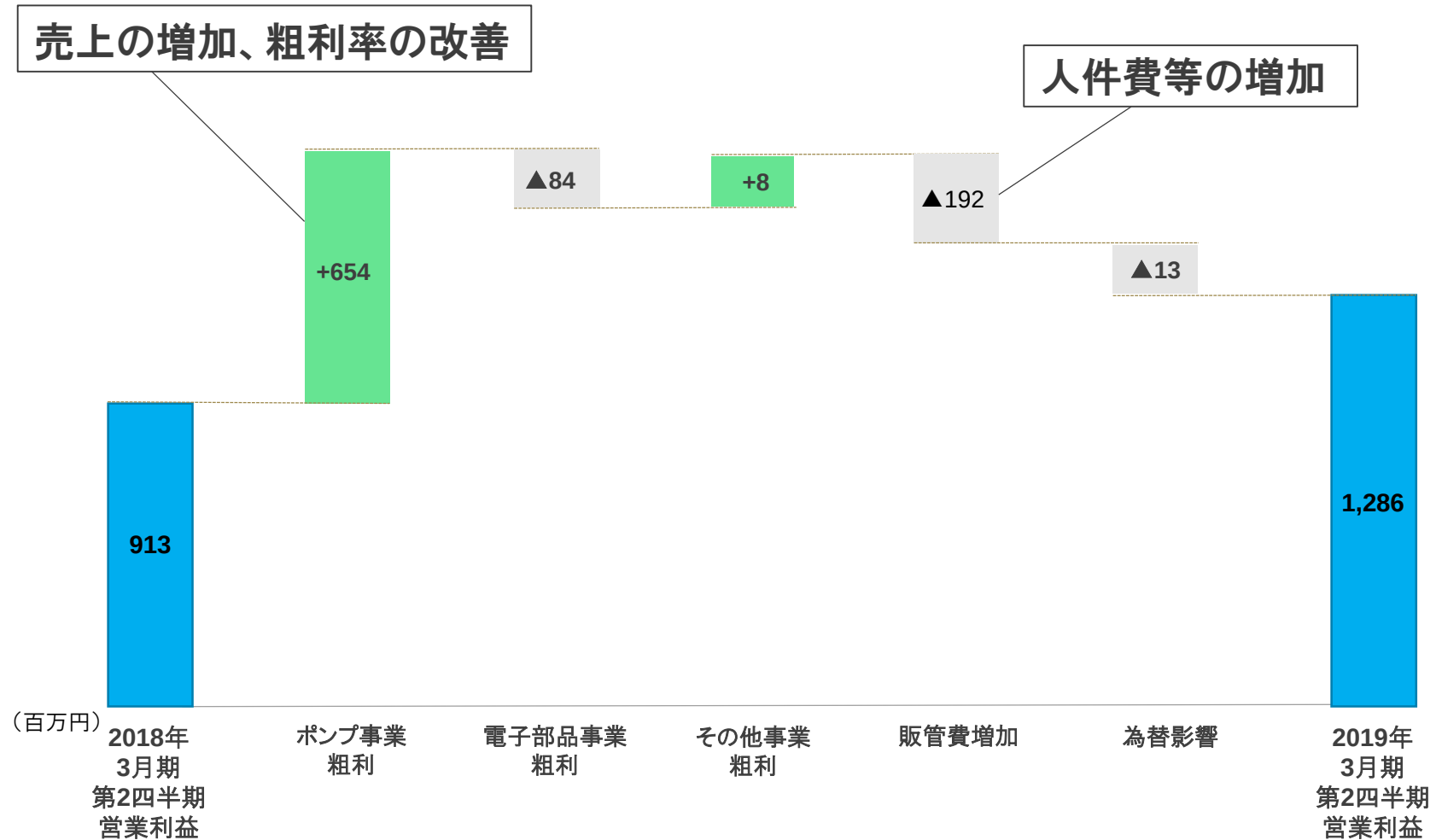
期中平均レート推移	2018年3月期第2四半期	2019年3月期第2四半期
USD円	112.35円	108.68円
人民元	16.39円	16.55円
ユーロ	121.67円	131.56円



営業利益増減分析



株式会社 帝国電機製作所
TEIKOKU



- ポンプ事業・・・売上の増加に加え、採算改善で増益
- 電子部品事業・・・西日本豪雨で取引先の工場稼働に影響があったため、減収減益

(百万円)		2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減率
ポンプ事業	売上高	8,132	9,416	+15.8%
	営業利益 (営業利益率)	792 (9.7%)	1,271 (13.5%)	+60.4%
電子部品事業	売上高	1,003	883	▲12.0%
	営業利益 (営業利益率)	76 (7.6%)	▲25 (－)	－
その他	売上高	214	280	+30.6%
	営業利益 (営業利益率)	44 (20.7%)	41 (14.8%)	▲6.6%

種類別受注高・受注残高



株式会社 帝国電機製作所

●ポンプ事業

受注高は日本及び中国を中心としたアジアで主としてケミカル向けが増加
国内の設備更新需要、アジアの新規設備需要が拡大する中、受注・受注残高は好調を維持

(百万円)	2018年3月期 第2四半期		2019年3月期 第2四半期		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ポンプ事業	9,508	7,431	12,269	9,780	+2,760	+2,349
電子部品事業	1,029	184	874	161	▲155	▲22
その他	271	125	249	84	▲21	▲41
合計	10,809	7,741	13,393	10,027	+2,583	+2,285

- 日本・・・ポンプ事業は設備更新、及びメンテナンス需要が堅調なことから増収、電子部品事業は減収
- 欧米・・・大きな案件は無く、減収。受注は回復傾向
- アジア・・・中国・東南アジアを中心とした新規設備投資需要により、好調

(百万円)		2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減率
日本 (ポンプ事業＋ 電子部品事業＋ その他事業)	売上高 (内、ポンプ事業)	4,425 (3,207)	4,687 (3,524)	+5.9% (+9.9%)
欧米(ポンプ事業)	売上高	1,984	1,880	▲5.3%
アジア(ポンプ事業)	売上高	2,941	4,012	+36.4%

※販売元が基準(外部顧客に対する売上でセグメント間を除く)

貸借対照表のポイント



株式会社 帝国電機製作所

●製品・仕掛品・原材料・貯蔵品・・・ポンプ事業の受注増による増加

百万円

資産の部	2019年3月期 第2四半期	前期末増減
流動資産	21,692	+938
現預金	9,132	+419
受取手形・売掛金	7,375	▲262
製品・仕掛品 原材料・貯蔵品	4,972	+657
固定資産	11,981	▲260
有形固定資産	8,837	▲36
無形固定資産	864	▲153
資産合計	33,673	677

負債の部	2019年3月期 第2四半期	前期末増減
流動負債	6,053	+254
支払手形・ 買掛金	2,563	+383
短期借入金	316	▲139
その他	3,172	+10
固定負債	1,680	▲2
純資産	25,940	424
(内自己株式)	(▲809)	(0)
負債・純資産合計	33,673	677

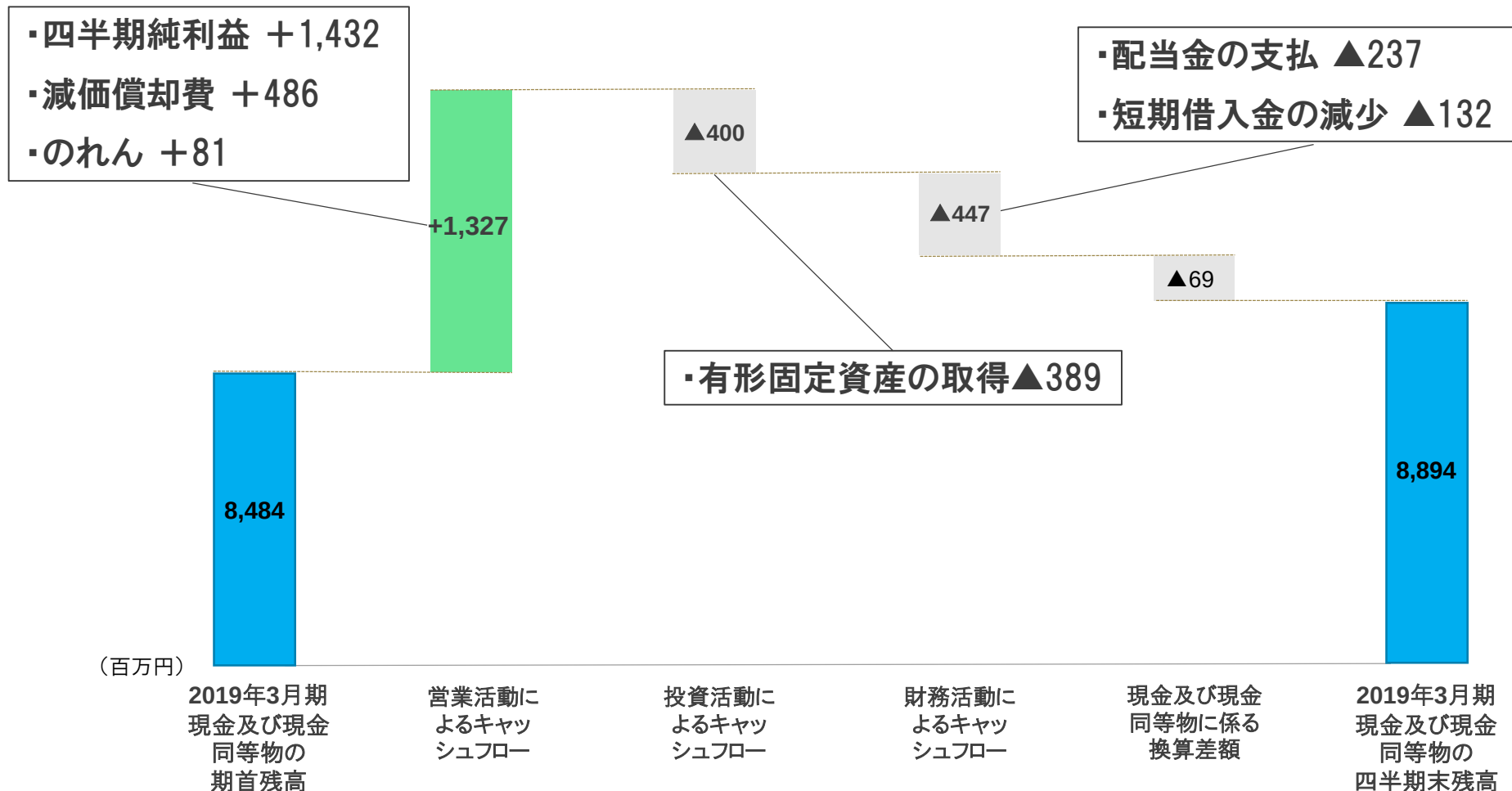
『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期については、遡及適用後の数値を記載しています。

キャッシュ・フローの動向



株式会社 帝国電機製作所

●業績堅調、現金・同等物四半期末残高は409百万円増加





世界中の様々な場所で活躍している
テイコクキャンドモータポンプ —————
私たちはキャンドモータポンプの
リーディングカンパニーです

2019年3月期業績見通し



株式会社 帝国電機製作所

TEIKOKU

今期計画(業績見通し)



株式会社 帝国電機製作所

- 売上は修正後中期経営計画208億円を上まわるが、営業利益は人件費増加、為替の影響により計画をやや下回る(前期為替前提1\$=112円→当期108円)

(百万円)	2018年3月期 (実績)	構成比 (%)	2019年3月期 (計画)	構成比 (%)	前期比 (%)	中期経営 計画
売上高	20,792	100	21,010	100	+1.0	20,800
売上原価	12,441	59.8	12,740	60.6	+2.4	
売上総利益	8,350	40.2	8,270	39.4	▲1.0	
販売費及び一般管理費	6,013	28.9	6,090	29.0	+1.3	
営業利益	2,336	11.2	2,180	10.4	▲6.7	2,200
経常利益	2,377	11.4	2,270	10.8	▲4.5	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,581	7.6	1,560	7.4	▲1.3	

業績見通しの前提条件



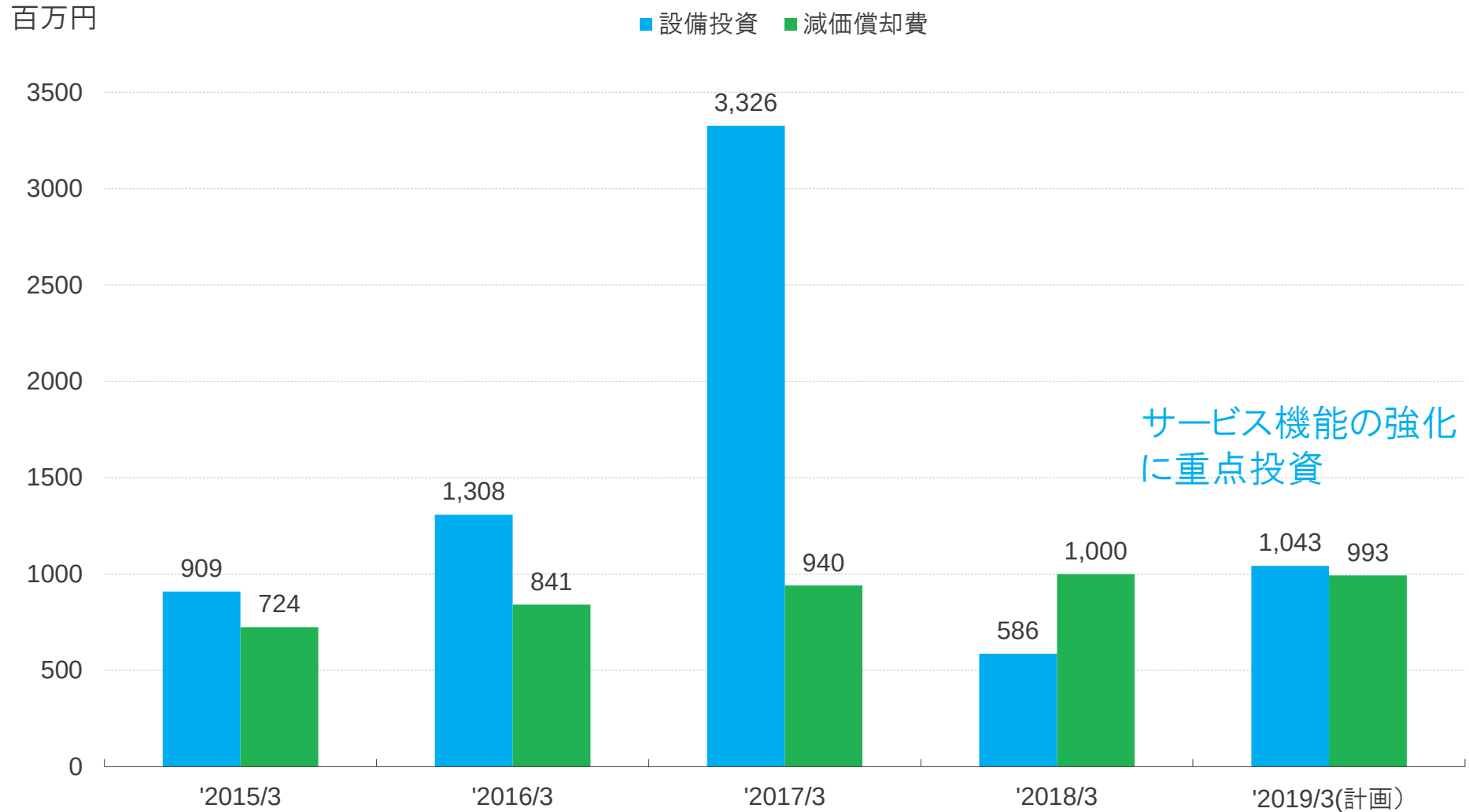
株式会社 帝国電機製作所

セグメント別	
ポンプ事業	・受注はアジア市場中心に堅調に推移 ・為替影響(計画レート1 \$ =112円→108円)、人件費増加等により若干の減益
電子部品事業	自動車業界の系列化の影響で減収、人件費の増加に加え工場改修費用等あり減益
計画為替レート	1US \$ =108.0円、1€=130.0円、1元=17.0円、1KRW=0.10円、1INR=1.7円 (前期実績レート: 1US \$ =112.2円、1€=126.7円、1元=16.6円、1KRW=0.10円、1INR=1.7円)
地域別	
日本	・ポンプ事業は受注が輸出案件中心に堅調、人件費の増加や電子部品事業で一部工場改修費用等が発生 ・材料価格の増加はあるが、機械更新、工場建替え効果で吸収
欧米	売上は前期並み、受注はアメリカで回復傾向。アメリカで6月に工場移転による費用発生、シェール関連の需要は2020年以降を予想
アジア	ケミカル中心に引続き中国での需要拡大を見込む

設備投資・減価償却費計画



株式会社 帝国電機製作所



基本方針

株主に対する利益還元は経営の重要課題のひとつ。
拡大する事業機会を迅速・確実に捉える為に必要となる株主資本の水準を保持。

配当

中長期的に連結配当性向30%以上を目標

自己株式取得

市場環境や資本効率等を勘案し、必要に応じて検討

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (予定)
年間配当金	15円	20円	24円
配当性向(連結)	24.4%	25.4%※	30.4%

※ 自己株式取得勘案後の総還元性向は**75.7%**



世界中の様々な場所で活躍している
テイコクキャンドモータポンプ

私たちはキャンドモータポンプの
リーディングカンパニーです

当社事業の特徴・強みと戦略



株式会社 帝国電機製作所

TEIKOKU

① 技術と市場優位性ある主力製品「キャンドモータポンプ」の圧倒的高シェアによる安定した収益基盤

＊ ポンプ事業の売上高18,245百万円(2018年3月期)

② 「キャンドモータポンプ」の用途の拡がり

＊ 化学プラントなどケミカル機器用52%だが、冷凍機・空調機器、インフラ、ウェハー洗浄、食品向け、原子力向けなど多様な用途へ展開・拡大、収益基盤の多様化進む

③ 海外市場での安定した評価と潜在可能性

＊ 海外売上高比率62%だが、新興国の経済発展、機能化学製品需要増で、グローバル(米国・中国・東南アジア・インド等)な需要は拡大へ

① 戦前に、電機メーカーとしての評価を確立済

第二次世界大戦前に鉄道保安装置(信号機)メーカーとして出発
戦後すぐに、電気自動車の開発も手掛ける

② 電機メーカー ⇒ 機械メーカー という発展経路で競争優位性を確立

戦後直後の業績低迷下で自社資源活用による企業価値向上を目指し、
電気の知識・経験を活かし、モータを武器にポンプの開発を進め、
独自の液漏れなしポンプ「キャンドモータポンプ」の開発に成功

1960年4月： 自社製品キャンドモータポンプ開発

③ 主力製品キャンドモータポンプの競争優位性確立を最優先とした 重点的な研究開発投資

後発メーカーとしてのハンデを逆手に、製品力強化へ経営資源(人・カネ)を集中投資

④ キャンドモータポンプの技術優位性と化学業界の興隆が連動

グローバル市場でのケミカルプラント増加、環境規制の厳格化から
当社ポンプの需要が拡大、国内NO.1シェアから海外でも評価上昇

●主力キャンドモータポンプの需要は国内外ともに堅調に増加へ

(背景) 石油化学・化学、半導体、社会インフラ(電力・交通など)で
中長期的に需要拡大が見込める

国内

- ・石油化学・化学会社の老朽化設備更新と高機能化学製品へのシフト
- ・AI・IoTによる半導体需要増
- ・用途拡大、新市場の開拓
- ・2020年東京オリンピック関連需要

海外

- ・メカニカルシールポンプからの置き換え(米国)
- ・石化事業の更新・集約(中国)
- ・環境規制(中国他)
- ・大型石化プロジェクト(中国他)
- ・衛生品、半導体、農業
- ・社会インフラ

- 国内：成熟市場で安定成長、海外：まず米国・中国拡大に全力

市場の深耕・拡大



	製品 競争優位性	用途 拡張性	販売力	技術・規格 適応力	成長性
国内	◎	◎	◎	◎	○
米国	◎	◎	○	◎	◎
中国	◎	◎	◎	○	◎
インド	○	○	△	△	◎
韓国	○	○	○	○	◎
東南アジア	○	○	△	○	◎
欧州	△	○	△	△	○
中東	△	○	△	○	◎

- 足元の需要は堅調だが、市場成熟化を睨み、主力ケミカルポンプ供給先の石油化学・化学業界の新たな潮流を的確にフォロー

コモディティ分野

- 原料としての汎用化学品

2018年はエチレン設備の
約半数が定期修理予定

更新・メンテ需要取込み

スペシャリティ分野の拡充

- 環境
- 新素材
- エネルギー
- 農業、畜産
- 医薬、ヘルスケア
- IoT

事業機会の拡大

●基本方針： 製品受注とアフターサービスの充実

主力のケミカル用キャンドモータポンプでの地固め

→エチレン付帯設備の定期修理案件の確実な獲得

→各地区のコンビナート顧客での定期修理と更新案件獲得

用途の拡がり： ケミカル用以外の案件発掘

超硬樹脂製品関連プラント（鉄から樹脂,炭素繊維,他）

エネルギー（火力・地熱発電、LNG）

自動車関係（リチウムイオン電池関連、ハイブリッド・EV車、高性能タイヤ）

新規工事案件（リニア工事など）

- ・ 産学共同研究の推進
 - 複数大学で**キャンدمอเตอร์**や**軸受に関する共同研究**を実施中
 - ・ IoT対応
 - **無線遠隔監視装置の開発・販売開始** → **メンテナンスサービス強化**
- ＜特徴＞
- ・ ポンプに取付けられたベアリング摩耗検知器の指示値を無線で遠隔監視
 - ・ 当社製以外のポンプや静止機器(反応器等)の各種センサーにも対応
 - ・ 設置済みポンプ・機器にも取付け可能
 - ・ 防爆エリアに設置可能



アメリカ

- メカニカルシールポンプからの置き換え
→ サービス体制充実
- 冷凍機向けポンプのシェア拡大
→ ノックダウン生産の推進
- ケミカル市場への攻勢強化
→ 短納期対応すべく一部機種のノックダウン化 → 現地生産化への第1ステップ
- 新市場の開拓のためのマーケティング
→ インフラ関係に着目

中国

- 石化プロジェクト、環境対策、高速鉄道・発電所向けなどインフラ関連
→ ケミカルポンプの潜在需要掘り起こし
→ 現地生産推進・直販体制(営業所23・サービス拠点4)強化

インド

- 石化プロジェクト、電力・交通インフラ
→ 現地子会社化(2017年4月)HYDRODYNE TEIKOKU(INDIA)PVT.LTD.によるマーケット深耕開始
→ ケミカル市場の攻略

ヨーロッパ

- ・高付加価値製品の拡販と一般品ポンプの市場投入
 - 各種規格品ポンプで攻勢強化
 - 中東エリア案件の取り込み

東南アジア

- ・ケミカル, 食品, 樹脂プラントの更なる市場攻略
 - ローカル・データサービス会社を活用し案件情報を獲得、営業・代理店を強化
- ・アフターサービスでの受注増
 - メンテナンス体制の検討開始

韓国

- ・半導体関連産業に着目 → 短納期対応で価格競争力の維持
- ・アフターサービスでの受注増
 - サービス工場の早期立ち上げ



モータジェネレータ基板

電子部品事業

- 100%子会社平福電機製作所の事業
- 電子部品のプリント基板表面への実装作業中心
(自動車用・二輪車用85%、産業機械用15%)

主力の車載向けに一層注力（自動車のシステム化・EV化対応）

- 統合ECU(ワイパーや照明等の機能制御機器)
- SSU(スマートキーレスエントリー)
- モータジェネレータ(車両用発電電動機)
- EVインバータ

産業機械向けの拡充（省力化投資拡大による需要増）

- シーケンサ(PLC)用電源基板・表示器



世界中の様々な場所で活躍している
テイコクキャンドモータポンプ

私たちはキャンドモータポンプの
リーディングカンパニーです

中長期経営計画



株式会社 帝国電機製作所

ポンプ事業の戦略とポイント



株式会社 帝国電機製作所

	国内	海外					
		米国	中国	インド	東南アジア	欧州	中東
市場	成熟	成長	成長	開拓	成長	成熟	成長
ポイント	高付加価値化	既存製品・量販	既存製品・量販	ブランド確立	既存製品強化	高付加価値化	既存製品強化
製品	ケミカルポンプ 定量ポンプ	ケミカルポンプ	ケミカルポンプ	ケミカルポンプ	ケミカルポンプ 定量ポンプ	ケミカルポンプ	ケミカルポンプ
手段	• 用途の拡大 • IoT活用 • 保守・サービスの強化	• 用途の拡大・短納期 • 保守・サービスの強化	• 用途の拡大・短納期 • 保守・サービスの強化	• 認知度向上 • 販売力強化	• 販売力強化 • 保守・サービスの強化	• 認知度向上 • 規格化商品の投入	• 販売力強化 • 保守・サービスの強化

① 主力製品「キャンドモータポンプ」の量産化推進

- 機能別・用途別需要の掘り起し

国内： ケミカル以外の用途の拡がりを追求

海外： インド、東南アジア、中東など更なる市場開拓

② 定量ポンプの主力製品化とメンテナンス事業の拡大

- キャンドモータポンプ量産化による全社コスト効率化を汎用品である定量ポンプ生産に活用
- キャンドモータポンプの既存販売チャネルを活かした効率的なマーケティングを実施
- メンテナンスサービスと一体化した製品提供力の強化・差別化

③ 主力製品の技術・製品優位性の維持・向上による価格競争力の向上

- 着実・継続的な研究開発投資による、当社ポンプの完全無漏洩・防爆品質の向上



持続的企業価値向上へ

中期経営計画・数値目標(ご参考)



株式会社 帝国電機製作所

◆3か年中期経営計画

(百万円)	2016年 3月期 (実績)	2017年 3月期 (計画)	2017年 3月期 (実績)	2018年 3月期 (計画)	2018年 3月期 (実績)	2019年 3月期 (計画)	2019年 3月期 (予想)
受注高	21,759	19,100	18,146	20,200	21,723	21,600	22,000
売上高	20,702	18,614	19,277	19,652	20,792	20,800	21,010
営業利益	2,166	1,576	1,712	1,839	2,336	2,200	2,180
営業利益率	10.5%	8.5%	8.9%	9.4%	11.2%	10.6%	10.4%

※ 計画は修正後の中期経営計画



世界中の様々な場所で活躍している
テイコクキャンドモータポンプ

私たちはキャンドモータポンプの
リーディングカンパニーです

環境経営への取り組み



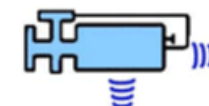
株式会社 帝国電機製作所

TEIKOKU

主力製品であるキャンドモータポンプ



- ・完全無漏洩であることから、環境負荷が小さい
- ・運転音が静かであるため、騒音を低減できる



環境に優しい製品の製造・販売で
地球環境悪化防止に貢献

環境設備の一部としての使用例

- ・自然冷媒のCO₂を使用した冷凍設備
- ・家電、自動車等から回収されたフロン類の分解処理設備
- ・地熱を利用したバイナリー発電設備
- ・工場排水処理設備
- ・脱硫装置

環境製品の製造工程での使用例

- ・太陽光パネル等に使用される多結晶シリコン製造設備
- ・バイオ燃料の製造設備
- ・EV用リチウムイオン電池のセパレータや電極の製造設備



世界中の様々な場所で活躍している
テイコクキャンドモータポンプ

私たちはキャンドモータポンプの
リーディングカンパニーです

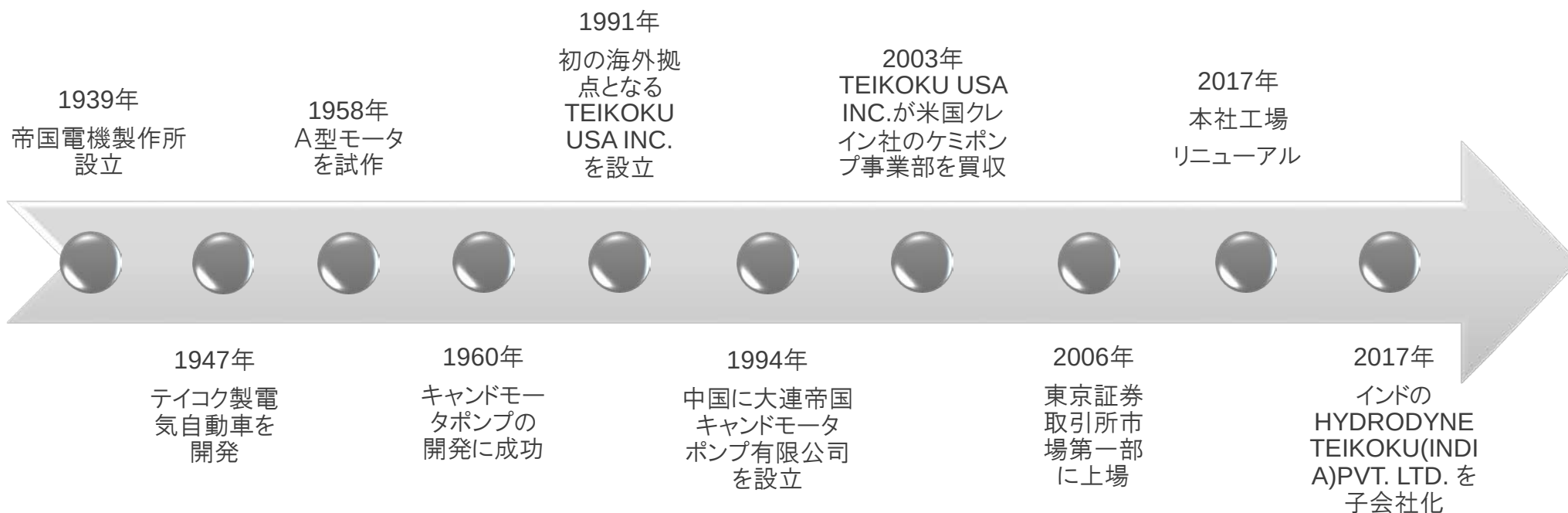
参考資料



株式会社 帝国電機製作所

当社は完全無漏洩構造のキャンドモータポンプを主力事業として、約半世紀にわたって事業を展開しています。

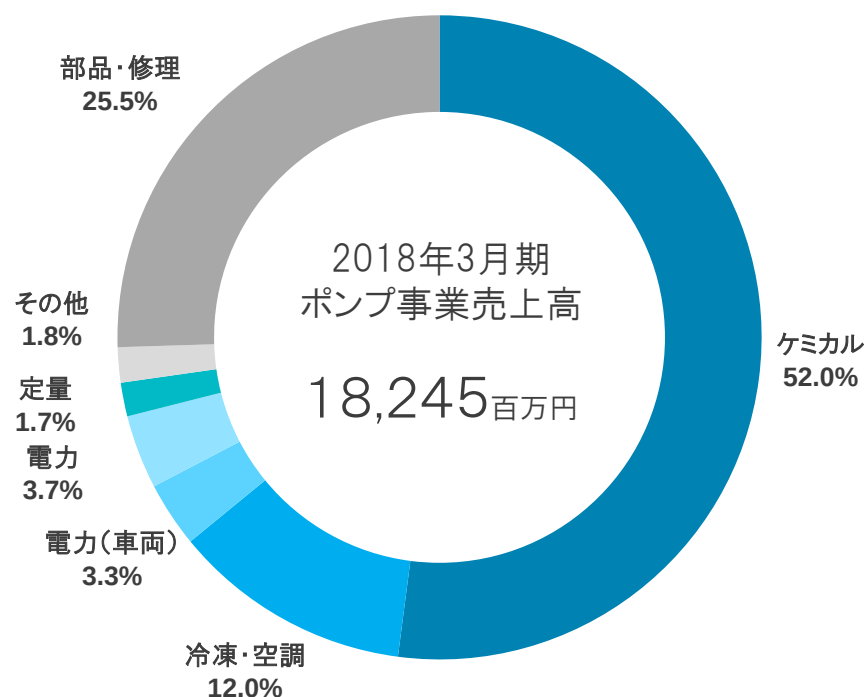
世界各地の石油化学プラント、ファインケミカル、医薬・食品業界、原子力発電所、変電所等様々な分野で活躍し、数多くの実績と信頼を築いています。



- みんなで良くなろう
- 誠実に事に当たろう
- 積極的にやろう

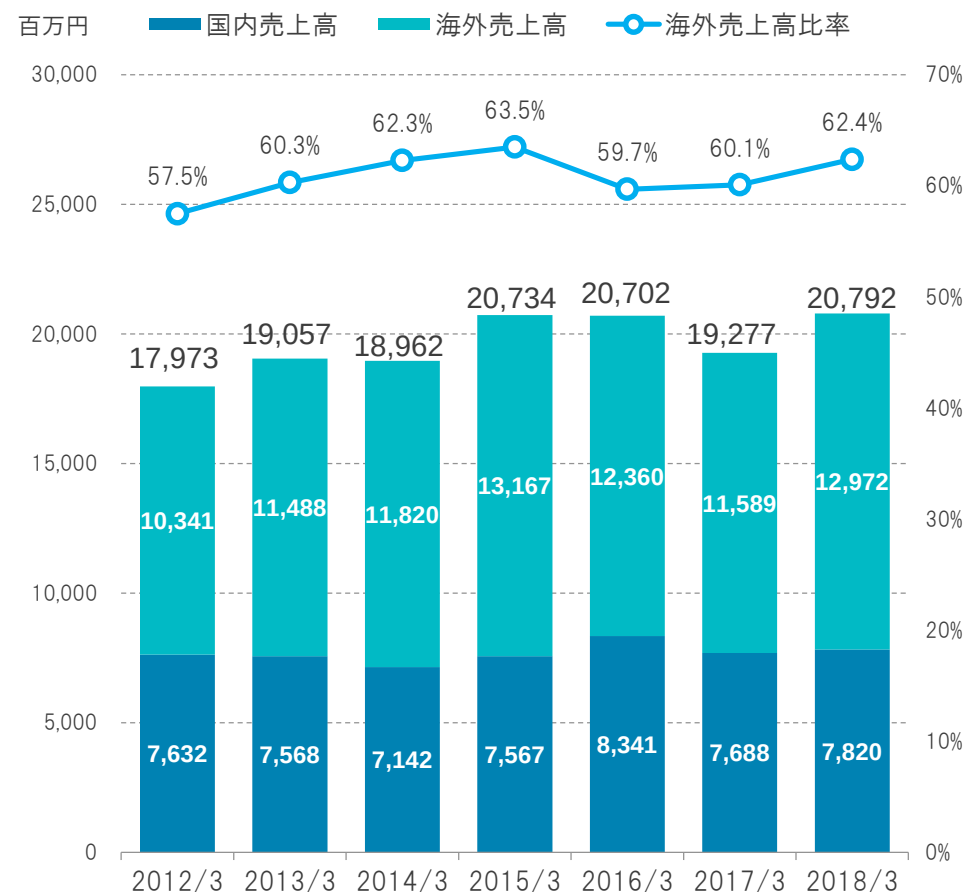


ポンプ用途別売上比率



- 売上高の約88%は、「キャンدمータポンプ」を主軸とする「ポンプ事業」

国内外売上高比率の推移



過去業績の推移



株式会社 帝国電機製作所

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
売上高 (百万円)	18,962	20,734	20,702	19,277	20,792
営業利益 (百万円)	1,551	2,316	2,166	1,712	2,336
営業利益率(%)	8.2	11.2	10.5	8.9	11.2
ROE(%)	8.0	9.2	6.0	5.1	6.3
ROA(%)	8.8	10.2	6.5	5.5	7.2
配当性向(%)	16.2	13.7	20.1	24.4	25.4
受注高 (百万円)	20,163	21,079	21,759	18,146	21,723
受注残高 (百万円)	6,011	6,356	7,414	6,283	7,214

※2017年3月期から在外子会社の収益及び費用の換算方法を変更しております。為替の換算方法について
期末レートの使用から期中平均レートの使用に変更しており、これを遡及適用しております。

キャンドモータポンプの特徴



株式会社 帝国電機製作所

一般的なポンプとキャンドモータポンプの違い

一般的なポンプはポンプとモータを別々に製造し、それをカップリングして使用するため、回転軸を通したケーシングの隙間から、取り扱い液が外部へ漏れてしまいます。

しかし当社のキャンドモータポンプは、ポンプとモータを一体化し、取り扱い液が密閉される構造であるため、完全無漏洩であることが特徴です。

キャンドモータポンプの優れた特徴

1 完全無漏洩



取り扱い液が外部に漏れるおそれがないので、人体に有害な液、爆発や引火しやすい液、高価な液、腐食性のある液などの取り扱いに適しています。

2 外気との接触なし



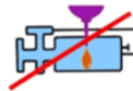
外気を吸い込まないので、真空系での運転、外気に触れると変質する液などの取り扱いに適しています。

3 幅広い圧力・温度に対応



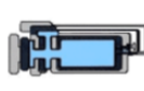
軸シールがないので、系の圧力が高い、高温液、低温液、高融点液などを取り扱うポンプの製作が容易です。

4 潤滑油いらす



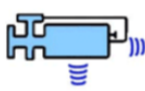
潤滑油を必要としないので、取り扱い液の汚染がなく、給油の手間が不要です。

5 小型軽量で省スペース



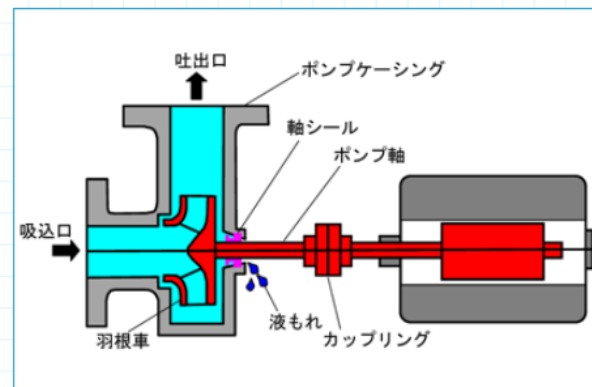
モータ軸がポンプ軸を兼ねているので、小型軽量で設置場所をとらない、分解点検が容易です。

6 静かな運転音



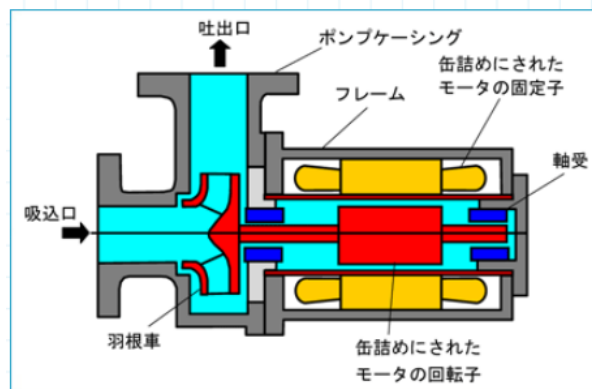
モータを冷却するファンがないので運転音が静かです。

一般的なポンプ



軸シール部から漏洩してしまいます。

キャンドモータポンプ

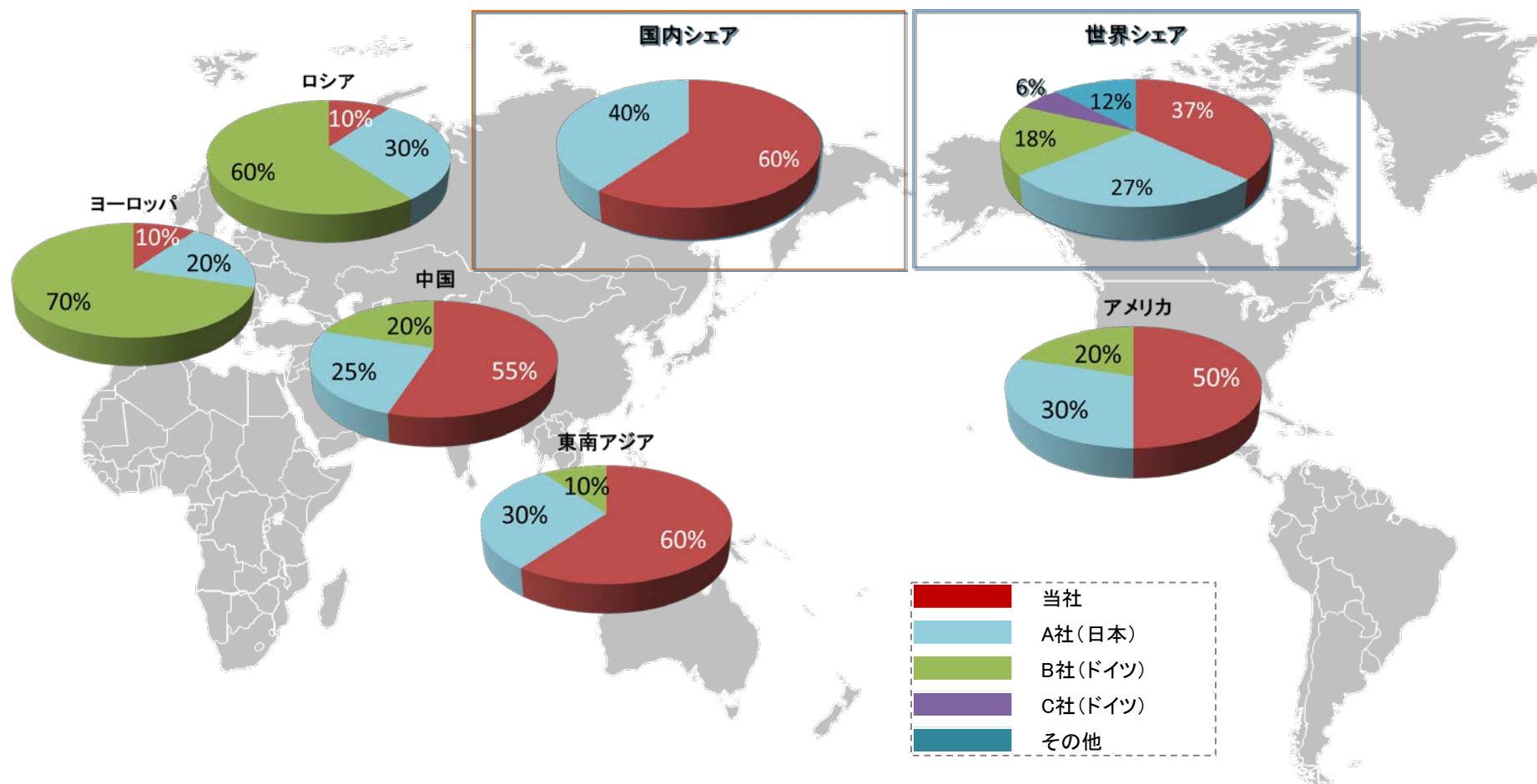


ポンプとモータを一体化し、密閉された構造であるため漏洩しません。

キャンドモータポンプの市場イメージ



株式会社 帝国電機製作所



注) 上記グラフはキャンドモータポンプに関する主要な非上場外国企業等を含めた当社推計でありますので、お取り扱いにはご注意ください

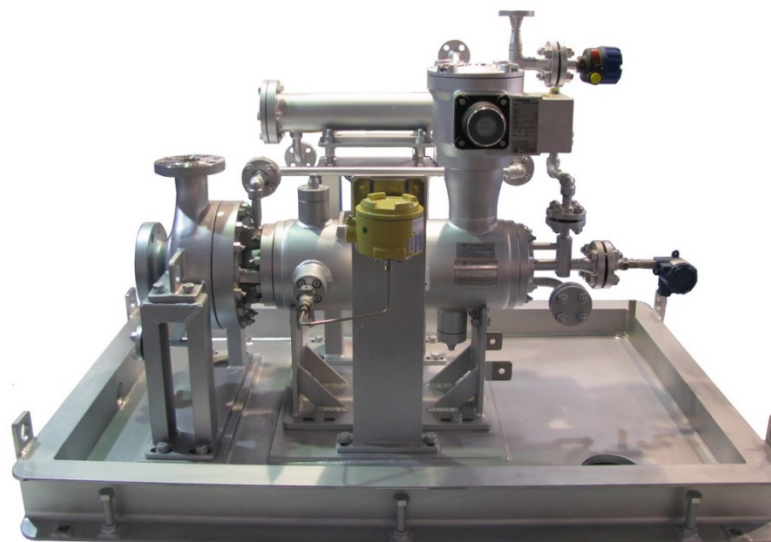
主力製品①: キャンドモータポンプ



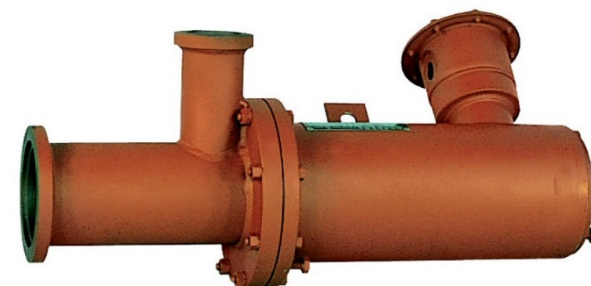
株式会社 帝国電機製作所



完全無漏洩という特徴を活かし、石油化学プラント等様々な分野で活躍しています。



国際規格API685に準拠したキャンドモータポンプ。高温・高圧に対する耐久性にも優れています。



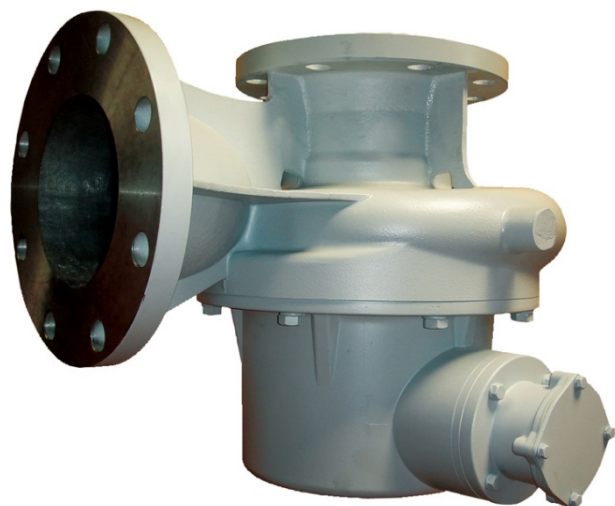
大型冷凍機・空調機の冷媒の移送においても、当社のキャンドモータポンプが採用されています。

主力製品②：電動油ポンプ



株式会社 帝国電機製作所

変圧器冷却用に使用されています。変電施設の他、すべてのJR新幹線に搭載されています。



主力製品③：定量ポンプ



株式会社 帝国電機製作所

一定量の液体を正確に移送可能なポンプ。
用途範囲が広く、薬品業界等で活躍しています。

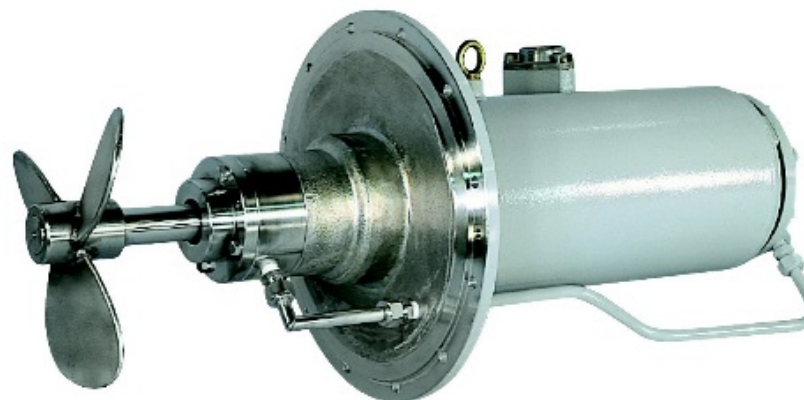


主力製品④：かくはん機



株式会社 帝国電機製作所

各種槽内の液体を効率よく攪拌でき、
石油化学業界のほか、食品業界等でも活躍しています。



本資料は当社をご理解いただくために作成されたものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわないようお願いいたします。

2018年11月

株式会社 帝国電機製作所